

緊急!
「交通死亡事故多発非常事態宣言」を宣言

経 緯

大田原市では、今年に入り10月31日現在で11件12名の交通死亡事故が発生しています。昨年中の交通死亡事故発生件数が6件7名でしたので、既に昨年の発生件数を大きく上回る、まさに異常事態となっています。

特に10月に入ってから、市内で3件の交通死亡事故が集中して発生し、12日には、全県下において「交通死亡事故多発」「全県」警報が発令されました。

このような現状を踏まえ、市では10月18日(月)、市役所議会棟第一会議室で開催した「交通死亡事故抑止緊急対策会議」において、市、大田原警察署、大田原交通安全協会、大田原地区安全運転管理者協議会の四者により、市民一人ひとりの交通安全意識を喚起し、交通死亡事故撲滅のために最大限の努力を行うことを誓い、「交通死亡事故多発非常事態宣言」を宣言しました。

今後の対策

今年発生した交通死亡事故の傾向としては、その約半数が高齢者が犠

牲となる事故であり、また、多くが夕暮れ時や早朝の薄暗い、運転者からも歩行者、自転車などが見えにくい時間帯に発生しています。

市はじめ関係機関としては、犠牲者の多くを占める高齢者を悲惨な交通事故から守るため、市民の皆様に対し「高齢者に優しい3S運動」(高齢者に対し、SEEⅡよく見る、SLOWⅡ減速する、STOPⅡ止まる)を推進するとともに、高齢者に対しては交通教育指導員による交

交通死亡事故多発非常事態宣言

期間 平成22年10月18日(月)～12月31日(金)

一瞬にして尊い命を奪い、大きな悲しみと苦しみを与え、平和な暮らしを破壊する交通事故を無くすことは、私たち大田原市民の切実な願いであります。

交通事故死者数は、昨年は7名でしたが、本年は交通死亡事故が多発し、すでに12名もの尊い命が失われ、極めて憂慮すべき事態となっております。

市民一人ひとりの交通安全意識を喚起し、交通事故撲滅のために最大限の努力を行うことを誓い、次のことを宣言します。

- 一 高齢者を、交通事故から守るための運動を推進します。
- 二 歩行者・自転車は反射材等を身につけ、夕暮れ時と夜間の交通事故防止に努めます。
- 三 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底します。
- 四 飲酒運転を根絶します。
- 五 高齢者に優しい3S(スリーエス)運動を実行します。

平成22年10月18日

大田原市長 津久井 富 雄
 大田原警察署長 若 林 勝 彦
 大田原交通安全協会会長 前 島 恒 夫
 大田原地区安全運転管理者協議会長 坂 上 文 男

交通安全教室や警察署員による交通講話などを通して、交通事故に遭わないような運転や歩行についての理解と、安全かつ正しい交通行動をお願いしていきます。

また、関係機関と協力しながら、市内各所で広報活動を行い、交通事故を1件でも減らすため、努力していきます。



■問い合わせ
 総務課交通対策係
 TEL (23) 8832

高齢者に優しい
3S(スリーエス)

SEE よく見る
 SLOW 減速する
 STOP 止まる

【交通死亡事故発生状況】

10月31日現在

番号	発生日	時刻	場 所	道 路	形 態	亡くなった方
1	1月29日(金)	17:25	狭原	市道	普通乗用車×歩行者(高齢者)	79歳・男性
2	2月11日(木)	20:33	寒井	国道294号	普通乗用車×普通乗用車	同乗者2名
3	3月19日(金)	18:50	花園	県道	普通乗用車×原付(高齢者)	76歳・男性
4	3月22日(月)	8:00	片田	県道	軽乗用車×大型自動二輪	46歳・男性
5	4月6日(火)	18:35	宇田川	県道	普通乗用車×自転車(高齢者)	72歳・女性
6	7月8日(木)	11:07	蜂巢	県道	自転車(高齢者)×中型貨物車	79歳・男性
7	7月25日(日)	15:03	荻野目	市道	自動二輪(単独)	42歳・男性
8	8月26日(木)	3:35	下石上	国道4号	中型貨物車×中型貨物車	54歳・男性
9	10月8日(金)	5:15	末広1	国道461号	普通乗用車×歩行者	63歳・男性
10	10月11日(月)	17:46	黒羽向町	県道	原付(高齢者)×普通乗用車	83歳・女性
11	10月12日(火)	11:57	黒羽向町	市道	原付(単独)	86歳・男性